

2025年12月18日

## 「6年ぶりの首脳会談－中朝関係は回復しつつあるのか」

(韓国・北朝鮮研究会コメントリーNo. 15)

霞山会主席研究員

堀田幸裕

2025年9月3日、北京で中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年記念行事（以下、中国戦勝節）が開催された。金正恩総書記は会場の天安門広場に着くと、平壌から持ち込んだ防弾の専用車「マイバッハ」から降りて瑞門をくぐり、ゆっくりとした足取りでレッドカーペットを進んだ。各国首脳が習近平総書記と挨拶をする中、金正恩総書記の順番が来ると、両氏はお互いに両手を差し出して、にこやかに握手した。実に6年ぶりの中朝首脳の再会であった。翌10月には朝鮮労働党創建80周年行事に合わせて、中国の李強首相が平壌を訪問した。中朝間のハイレベルの相互往来が再開し、「中朝友好の年」（2024年）の失敗を乗り越えて、両国関係はある程度回復しつつあるように見える。もっとも、実際には、中朝間の交流は相変わらず限定的であり、中国人観光客受け入れもまだ始まっていない。貿易関係についても増加傾向ではあるが、突出した動きはなかった。

### 1. 金正恩総書記が訪出し、初めて多国間行事に参加

金正恩総書記は2025年9月3日に開催された中国戦勝節に参加するため、三日間の滞在日程で中国・北京を列車で訪問した。西側各国は政府代表の参加を見合させたものの、26か国首脳が参加したこの種の多国間行事に、金正恩総書記が参加したのは異例である。これまで二国間での首脳会談を中国やロシア、ベトナム、シンガポールなどで行った実績はあったが、国際的な行事に出席するのは今回が初となった。

表1 金正恩総書記の訪中に同行した北朝鮮側の主要な人物

崔善姫・外務大臣、趙甬元・党中央委政治局常務委員／組織担当書記／党中央委組織指導部長、金徳訓・政治局員／規律調査部長、朱昌日・政治局員候補／党中央委宣伝煽動部長、金成男・政治局員候補／党中央委国際部長、金勇秀・党中央委財政経理部長、金炳鎬・党中央委宣伝煽動部第一副部長、金与正・党中央委宣伝煽動部副部長、玄松月・党中央委宣伝煽動部副部長、任天一・前外務次官（ロシア担当）、金ジュエ・金総書記の娘
---

出典：『北朝鮮政策動向』No. 657、ラヂオプレス、聯合ニュース<sup>(1)</sup>。今回は軍関係者の同行が確認されなかった。

2019年6月の習近平総書記の訪朝以来、コロナ禍を挟んで中朝間では首脳の相互訪問も再開さ

れないままだった。ロ朝間では、金正恩総書記が2023年9月にロシアを訪問しており、またプーチン大統領も2024年6月に北朝鮮を訪問するなど相互往来が行われていた。そのため、中朝間の人的交流が振るわないのは防疫だけが理由とも言えず、行方が注目されていた。今回、金正恩総書記は北京で多国間外交へのデビューを果たすとともに、ロシアおよび中国との首脳会談をそれぞれ個別に実施した。中ロ朝3か国での首脳会談は行われなかつたものの、天安門上樓から中国戦勝節の軍事パレードを参観する際には、習近平総書記の両隣にプーチン大統領と金正恩総書記が並ぶことで、3か国の結束を世界に向けて示す形ともなった。

金正恩総書記の多国間外交の中身については、断片的な情報が伝えられるのみだが、禹元植・韓国国会議長と接触したこと<sup>(2)</sup>、アンワル・マレーシア大統領と会話したこと<sup>(3)</sup>、トカエフ・カザフスタン大統領と立ち話をしていること（報道映像から確認）、ルカシェンコ・ベラルーシ大統領と会話し「都合の良いときに北朝鮮を訪れるように」と招待したこと<sup>(4)</sup>などが判明している。

朝鮮中央テレビが放映した、金正恩総書記の訪中についての記録映画<sup>(5)</sup>を見ると、中国にいながらもロシアとの蜜月ぶりが窺える。ロ朝首脳会談は9月3日午後に行われているが、両者個別の対面はこれだけではない。中国戦勝節のパレード参観後に金正恩総書記とプーチン大統領は打ち解けた表情で立ち話をしている。その後は人民大会堂で中国政府の公式レセプションが催されたが、これが終わるとロビーで二人が合流してそのまま一緒に車へ乗りこんで釣魚台国賓館に向かい、首脳会談に臨むという演出がなされた。中国との二国間関係以上に、ロ朝関係の親密ぶりがアピールされているかのようであった。

中朝首脳会談は、9月4日に実施されている。こちらは映像を見ているとロシアとの会談のようなリラックスした感じではなく、やや緊張感も感じられた。習近平総書記は話をしている間、ずっと手元の資料に目を落とし、トーキングポイントを外さないよう慎重に発言しているようにも見えた。しかしながら中国側は会談後に茶話会と夕食会も設けるなど、特別待遇で金正恩総書記を迎えた。中国戦勝節のイベント参加国の中で、習近平総書記との（二国間の）食事会が設定されたのは、ロシアと北朝鮮だけだったようである<sup>(6)</sup>。

首脳会談を伝えた新華社と朝鮮中央通信ではそれぞれ少し報道内容が異なる。その中でも共通して言及されているのが、（中国の）中朝関係重視の方針は「国際情勢がいかに変化しようとも変わらない」と習近平総書記が示したというのだ。また習近平総書記は、北朝鮮が自分たちの実情に沿った道を歩み、社会主义事業で新局面を開拓していくことを支持するとしており、中国は北朝鮮が独自の社会主义の道を歩んでいくことに賛同する姿勢を明確にしている。そして習近平総書記は、2018年3月、同5月、同6月、2019年1月、同6月の金正恩総書記との首脳会談では言及のあつた「非核化」という言葉を、今回は一貫して使用せず、核保有国を自称している北朝鮮に配慮する姿勢を見せた。

新華社の報道では、朝鮮中央通信には登場しない金正恩総書記のより具体的な発言が紹介されている。「両党・両国の各レベルの往来を緊密にする」こと、北朝鮮側は中国側と「党建設、経済発展等の経験についての交流を繰り広げ、朝鮮の党と国の建設事業の発展を後押ししたい」と考えていること、北朝鮮側は「朝鮮半島問題における中国側の公正な立場を称賛しており、国連などの多国間プラットフォームで協調を引き続き強化して、お互いの共通且つ根本的な利益をしっかりと擁護していきたい」という発言である。加えて、「朝鮮と中国の旧世代の指導者たちは抗日戦争の中で深い

友情を育み、われわれにはこれを代々継承する義務がある」と、「中国が長年にわたり朝鮮の社会主義事業を搖るぎなく支持し、貴重な支援と援助を提供してくれていることに感謝する」といった、先代の意志を継ぐ義務や中国に対する感謝を表す言葉も、金正恩総書記から出ているようだ。そして、「両国の互恵的な経済貿易協力を深化させ、より多くの成果を収めることを願っている」という、中国に対する経済的な期待感が現れた金正恩総書記の発言も引用されている<sup>(7)</sup>。

## 2. 李強首相の北朝鮮訪問と人民解放軍代表団の訪朝

### ○ハイレベル交流の復活か

金正恩総書記が訪中した翌月、中国の李強首相が北朝鮮を正式友好訪問した（2009年の温家宝首相の訪朝も「正式友好訪問」）。平壌で行われた朝鮮労働党創建80周年の祝賀関連行事に参加するためであったが、首脳間の相互往来が中朝間でも再開されたということかもしれない。ただしこちらも9月の北京での中国戦勝節同様に、中国以外にもベトナムのトーラム・共産党書記長、ロシアのメドベージエフ・統一ロシア党議長をはじめ、ニカラグアの政府代表団、イラン、赤道ギニア、メキシコ、ベネズエラ、ブラジルの各党代表団らも参席する多国間行事だった。

李強首相と金正恩総書記の会見では、李強首相から「朝鮮とのハイレベル交流と戦略面の意思疎通を強化し、伝統的友誼を一段と発揚し、実務協力を深め、国際・地域問題で協調と連携を緊密にし、多国間協力を強化し、多国間主義を断固守り、実践し、国際秩序をより公正で合理的な方向に発展させることを願っている」という発言があった。そして金正恩総書記は、台湾問題における「一つの中国の方針」ならびに、香港、新疆、チベットに関する問題での中国の立場を支持するとともに、「中国とのハイレベル交流を緊密にし、各分野の協力を促進し、多国間協力を強化し、それぞれの社会主義事業の発展を推進し、両国人民により多くの幸福をもたらしたい」とした<sup>(8)</sup>。従来の中朝関係では二国間関係に限定された外交が展開されてきたが、二人ともから多国間協力という言葉が出ているのが興味深い。なお朝鮮中央通信の報道<sup>(9)</sup>では、金正恩総書記から多国間協力に関する発言があったことは確認できないが、李強首相と朴泰成首相の会談に関する報道<sup>(10)</sup>では、「中朝双方が両国の社会主義偉業を積極的に促し、多国間の舞台で相互支持・声援しながら国際的公平と正義を実現する用意を表明した」としており、金正恩総書記との会談でも間違いなくこのテーマが話し合われたのだろう。

李強首相は北朝鮮滞在中、党創建記念行事として行われたマスゲームと芸術公演（10月9日）、閱兵式（10月10日）に金正恩総書記から向かって右横という最上位のポジションで観覧している。一方で、芸術公演後には金正恩総書記に対して李強首相が自らサムズアップして見せるなど、北朝鮮に対してかなり気を使っているようにも窺えた。なお李強首相の滞在中、北朝鮮側と経済関係の協定書に調印するなどの報道はなかった。また歓待されたかに見える李強首相だが、金正恩総書記との食事会などは実施されなかったようだ。ロシアのメドベージエフ・統一ロシア党議長に対しては、錦繡山太陽宮殿で朝鮮労働党中央委員会名義による宴会が開かれている<sup>(11)</sup>。

同時期、上海歌舞団による公演が東平壌大劇場で行われ、朱昌日・党中央委宣伝煽動部長らが観覧した。また、北京の北朝鮮大使館で開催された朝鮮労働党創建80周年を祝うレセプションには、蔡奇・中国共産党政治局常務委員（党内序列5位）が参加している<sup>(12)</sup>。

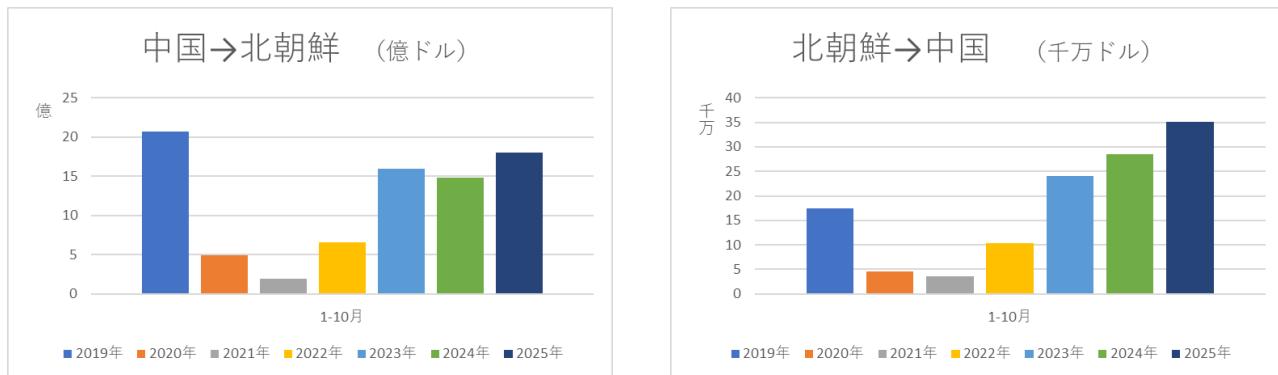
○「鮮血で固められた友誼」－対中国のみならずロシアとの記憶にも

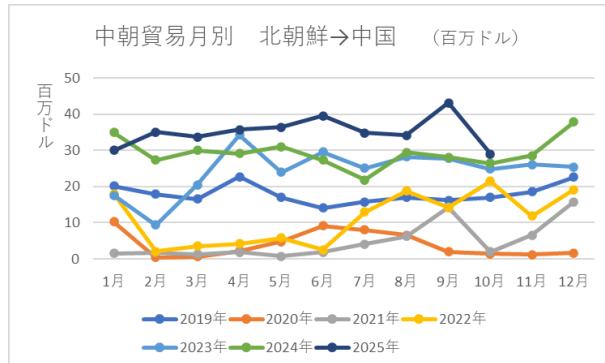
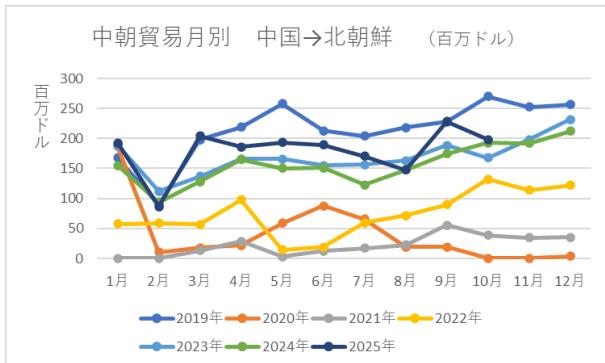
10月25–28日、中国人民解放軍国防大学の夏志和政治委員を団長とする中国人民解放軍代表団が北朝鮮を訪問した。中国人民志願軍の朝鮮戦争参戦75周年に際し、両国代表は10月25日に平壤中心部にある友誼塔を訪問して献花をした。北朝鮮側からは、金成男・党中央委國際部長、鄭明帥・副首相、任景載・都市経営相、朴明浩・外務次官、金剛日・国防省次官、金泰根・国防省次官らが参加した。その後、一行は平安南道檜倉郡にある中国人民志願軍烈士陵園に向かい、中朝合同で追悼式典が行われた<sup>(13)</sup>。

この前日、金正恩総書記も同烈士陵園を訪れており、献花黙祷している。この様子を伝えた朝鮮中央通信の報道では「歳月が流れ、世代が交代してもわが人民は、中国人民の優れた息子・娘が流した鮮血と不滅の功績を永遠に忘れないであろう。血をもって結ばれた朝中親善は今後も、反帝・自主、社会主義偉業を実現するための聖なる闘いで不抜の生命力を力強く誇示するであろう」と結んでいる<sup>(14)</sup>。鮮血で固められた中朝友好を確認した形だが、実はさらにその前日の23日、金正恩総書記はロシア派兵で犠牲となった兵士たちの功績を偲ぶため、新たに建設される海外軍事作戦戦闘偉勲記念館の着工式に参加している。そこで行った演説で金正恩総書記は「血で結ばれ、日々強固になる朝ロ関係の偉大な象徴となる記念館」、「崇高な理想と念願を共にする両国人民の同盟は正しい選択であり、貴い血と命で成し遂げた血縁の連帯と友誼は実に神聖で限りないものです」と述べている<sup>(15)</sup>。これまで血で固められた同盟関係とは、朝鮮戦争で肩を並べて戦った中朝の歴史的記憶を形容するものだった。しかし金正恩総書記の言葉からは、ロシアとの関係も同等に引き上げられていることが明確に現れており、中朝関係だけが特殊性をもって語られる時代はすでに過去のものとなったことを実感させるものだった。

### 3. 中朝貿易の現状

図 中朝貿易 2019–2025年（1–10月期）貿易額比較と月別の取引額推移





出典：中国税関統計

2022年以降、ロシアは北朝鮮との貿易統計を公開しなくなつたが、ロシア輸出国・輸入業者協会の国際物流担当官エフゲニー・ニキフォロフ氏は、「(ロ朝貿易の金額が) 2024年は3400万ドルに達し、ソ連時代以来の最高水準」になったと発言している<sup>(16)</sup>。ロシアから北朝鮮への主な輸出品としては、小麦粉、大豆、バター、穀物などの農業製品、燃料または「hydrocarbons（炭化水素。石油・天然ガスの主成分）」。北朝鮮からロシアへの主な輸出品には、たばこ、ビール、化粧品などがあるとされる。ただ、こうした交易品は正規の貿易というより、軍事支援に対する見返りとしてのバーター貿易として行われている可能性も指摘されている。

一方で中朝貿易は、コロナ期の落ち込みからようやく脱却しつつある。すでに北朝鮮から中国への輸出額は2023年からコロナ前を上回る形で年々増加しており、中国から北朝鮮への輸出額も2025年はコロナ以降では最高値となっている。9月と10月は中朝ハイレベル交流があり、9月は確かに輸出入ともに上がってはいるが10月にはまた下がっているので、貿易額に政治的な影響が出ているかどうかは言えないところだ[図]。

表2

2025年1-10月 中国から北朝鮮への輸出品 金額上位10品目

HS code	商品名称	価格（米ドル）
67030000	かつら加工用の人髪や類似品として使われる羊毛など	179,374,424
15079000	大豆油及びその分別物	92,607,155
60063200	合成繊維製の染色したその他のニットやフック編み地	37,448,619
17019910	砂糖	31,817,367
54075200	合成繊維の長繊維の糸の織物で、全重量が染色した布の85%以上のもの	31,392,932
54076900	合成繊維の長繊維の糸の織物 その他ナイロンその他ポリエステル長繊維の重量が全重量の85%以上のもの	29,776,052
27132000	アスファルト	27,413,472
40112000	バスや貨物自動車用の新しい空気入りゴムタイヤ	25,191,074
39181090	塩化ビニルの重合体製のもの	21,691,414
64029929	リストアップされていないビニール製の靴	18,775,716

2025年1-10月 北朝鮮から中国への輸出品 金額上位10品目

HS code	商品名称	価格（米ドル）
67042000人毛かつら、ひげ、眉毛、まつげ、その他の人毛製品		159,228,132
72022100フェロシリコン けい素の含有量が全重量の55%を超えるもの		23,291,708
26110000タンクスチン鉱およびその精鉱		21,762,010
27160000電力		21,548,160
91081100ウォッチャームーブメント 機械式表示部のみを有するもの及び機械式表示部を組み込むことができる装置を有するもの		18,131,105
38249930増炭剤		15,851,686
26139000その他モリブデン鉱およびその精鉱		13,252,072
98040000小額の簡易通関商品		12,422,599
67041900合成繊維素材によって作られたかつら、ひげ、眉毛、まつげなど		11,300,779
28492000炭化ケイ素		5,161,056

出典：中国税関統計

貿易品目の内訳をみると、北朝鮮からの輸出品は制裁に該当しない委託生産品のかつらが大きな比重を占めている。中国からの輸出品もこのかつら生産のための材料搬入がトップになっている[表2]。その他に中国からの輸入品としては、食用油や砂糖等食品関係、繊維製品などが平均して上位を占めている。

なお、国連安保理による国際制裁が本格化する前の2015年（1-10月期）の中国からの輸入品上位は、食用油「大豆油及びその分別物」（78,917,698ドル）で1位を占め、合成繊維の長繊維生地「合成繊維の長繊維の糸の織物 その他ナイロンその他ポリエステル長繊維の重量が全重量の85%以上のもの」（67,911,797ドル）、トラック等「車両総重量が20トンを超えるその他のディーゼル貨物自動車」（64,177,514ドル）、ガソリンとジェット燃料「バイオディーゼルを含まない自動車用ガソリンと航空用燃料」（38,184,735ドル）、携帯電話機「携帯回線網用その他の無線回線網用の電話」（36,885,090ドル）と続いていた[表3]。このうち3-5位、9、10位の商品は現在、国連安保理制裁によって北朝鮮への輸出が制限ないし禁止されている。

表3

（参考：国際制裁前の貿易品）2015年1-10月 中国から北朝鮮への輸出品 金額上位10品目

HS code	商品名称	価格（米ドル）
15079000大豆油及びその分別物		78,917,698
54076900合成繊維の長繊維の糸の織物 その他ナイロンその他ポリエステル長繊維の重量が全重量の85%以上のもの		67,911,797
87042300車両総重量が20トンを超えるその他のディーゼル貨物自動車		64,177,514
27101210バイオディーゼルを含まない自動車用ガソリンと航空用燃料		38,184,735
85171210携帯回線網用その他の無線回線網用の電話		36,885,090
69089000其他の油薬を施した陶磁器タイル、瓦、ブロック及び類似品		34,703,129
60063200合成繊維製の染色したその他のニットやフック編み地		32,774,311
40112000バス又は貨物自動車に使用する新しい空気入りのゴムタイヤ		30,535,938
85287222液晶表示のカラーデジタルテレビ受像機		26,765,107
84713090重量が10キログラム以下のポータブル自動データ処理機械		26,331,119

## まとめ

金正恩総書記が6年ぶりに訪中して習近平総書記と首脳会談を実施し、また李強首相が訪朝して金正恩総書記と会談を行ったこと。そして中国戦勝節、北朝鮮の党創建記念日の祝賀行事という重要政治行事に両国の首脳が参加し、外交上も最高位の待遇をそれぞれ受けていることなどを考えると、二国間関係は緩やかに回復しつつあることは疑いない。だが、相対的に日朝関係がそれ以上の

緊密さをアピールしているため、コロナ前と比較すると中朝の関係性の変化が浮き彫りとなってしまうのも否めない。中朝の人的往来や経済関係などは大きく前進しているとも言い難いが、一方で北朝鮮が中国以上に活発な対外関係をもっているのはロシア以外にはない現状でもある。こうした点を踏まえると、中朝関係は改善の流れにはあるが、北朝鮮にとっては国際情勢の変化も見極めつつこれまでの対中依存度の高さなどをバランスシングする意図から、ロシアとの関係性は対中関係とは別に今後も深めていく狙いがあると考えられる。北朝鮮にとり、冷戦終結後は唯一の後ろ盾だった中国の価値が、ウクライナ戦争以降の動搖する国際秩序の中で大きく変わってきたのではないか。最近の中朝関係からは、そうした北朝鮮の世界観の転換が感じられる。

<sup>1</sup> 「[中戦勝節]金正恩訪中団に軍人士見られず…金与正、密着 随行（総合3報）」聯合ニュース、2025年9月3日。<<https://www.yna.co.kr/view/AKR20250903028253504>>

<sup>2</sup> 「[中戦勝節]禹議長、金正恩と握手し“7年ぶりに再会しましたね”…金“はい”（総合2報）」聯合ニュース、2025年9月3日。<<https://www.yna.co.kr/view/AKR20250903136952001>>

<sup>3</sup> Anwar Ibrahim、facebook、2025年9月3日の投稿。

<sup>4</sup> “Lukashenko talks with North Korean leader Kim Jong Un before parade in Beijing.” BELTA, September 3, 2025.<<https://eng.belta.by/president/view/lukashenko-talks-with-north-korean-leader-kim-jong-un-before-parade-in-beijing-171109-2025/>>

<sup>5</sup> 「敬愛する金正恩同志が中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年記念行事に参加するために中華人民共和国を訪問 2025年9月2-4日」<<http://www.elufa-tv.net/document/329.html>>（韓国語）

<sup>6</sup> 「中国、正恩氏を主賓扱いし宴会も 関係修復アピール、両者の思惑は」朝日新聞デジタル、2025年9月5日。<<https://digital.asahi.com/articles/AST953Q6JT95UHBI00KM.html>>

<sup>7</sup> 「習近平同朝鮮労働党総書記、國務委員長金正恩举行会談」新華網、2025年9月4日<<http://www.news.cn/politics/leaders/20250904/4e18bc4d9fe24a6da43ddc3b56236de9/c.html>>。「朝鮮労働党総書記で朝鮮民主主義人民共和国國務委員長である金正恩同志が中国共産党中央委員会総書記で中華人民共和国国家主席である習近平同志と会談」朝鮮中央通信、2025年9月4日<<http://www.kcna.kp/jp/article/q/ea275a7d6ed05fd0efd59fb1de83389b.kcmsf>>

<sup>8</sup> 「李強会見朝鮮労働党総書記、國務委員長金正恩」新華網、2025年10月10日<<http://www.news.cn/politics/leaders/20251010/36c63040019146baaf0eb6be516ad8cc/c.html>>

<sup>9</sup> 「敬愛する金正恩総書記が中国の李強総理と会見」朝鮮中央通信、2025年10月10日<<http://www.kcna.kp/jp/article/q/2948003b24a95e5fb60e5c4c71751392.kcmsf>>

<sup>10</sup> 「朝中総理会談」朝鮮中央通信、2025年10月12日<<http://www.kcna.kp/jp/article/q/b464f3b1a09b2557b49691efdf0f0fd3861fbb187d4740631d7da528c58e8b14b57ea9551b727c883a2681d83a0a71.kcmsf>>

<sup>11</sup> 「朝鮮労働党中央委員会が全ロシア政党『統一ロシア』代表団を歓迎して招宴」朝鮮中央通信、2025年10月10日<<http://www.kcna.kp/jp/article/q/b464f3b1a09b2557b49691efdf0f0fd3861fbb187d4740631d7da528c58e8b14b57ea9551b727c883a2681d83a0a71.kcmsf>>

<sup>12</sup> 「蔡奇出席朝鮮労働党成立80周年慶祝招待会」新華網、2025年10月9日<<http://www.news.cn/politics/leaders/20251009/902e1cb88c984aac8bd56ac2c4d9c8b9/c.html>>

<sup>13</sup> 漢字表記は報道ママ。「中朝双方共同向友誼塔、桧倉郡中国人民志願軍烈士陵園敬献花籃」中華人民共和国駐朝鮮民主主義人民共和国大使館、2025年10月25日<[https://kp.china-embassy.gov.cn/zcwj/202510/t20251025\\_11740715.htm](https://kp.china-embassy.gov.cn/zcwj/202510/t20251025_11740715.htm)>

<sup>14</sup> 「敬愛する金正恩総書記が中国人民志願軍朝鮮戦線参戦75周年に際して中国人民志願軍烈士陵園を訪れる」朝鮮中央通信、2025年10月25日<<http://www.kcna.kp/jp/article/q/5bc80bac86ecc43de919642cd142b372.kcmsf>>

<sup>15</sup> 「海外軍事作戦戦闘偉勲記念館建設の着工式で行った金正恩総書記の演説」朝鮮中央通信、2025年10月25日<<http://www.kcna.kp/jp/article/q/5bc80bac86ecc43de919642cd142b372.kcmsf>>

---

[p://www.kcna.kp/jp/article/q/87d7061fc0ecc179b1319cc22ec6ae7a.kcmsf](http://www.kcna.kp/jp/article/q/87d7061fc0ecc179b1319cc22ec6ae7a.kcmsf) >

<sup>16</sup> “Russia-North Korea trade hit ‘record’ \$34M in 2024 on food and fuel: Official“, *NK News*, June 11, 2025.< <https://www.nknews.org/2025/06/russia-north-korea-trade-hit-record-34m-in-2024-on-food-and-fuel-official/> >